

2017年8月3日  
RPA テクノロジーズ株式会社

## RPA のベーステクノロジー「BizRobo!」を活用した 「西濃運輸」のバックオフィス業務の効率化を開始

RPA のベーステクノロジーを提供する RPA テクノロジーズ株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:大角 暢之、以下 RPA テクノロジーズ)は、西濃運輸株式会社(本社:岐阜県大垣市、代表取締役社長:神谷正博、以下西濃運輸)に RPA のベーステクノロジーである「BizRobo!」を提供し、『バックオフィス業務の効率化』を開始いたします。

現在、日本国内においては、急速な少子高齢化に伴う労働生産人口の減少・不足という問題が深刻化しています。こうした時代背景の中、企業がグローバルで競争力を発揮していくためには、さらなる業務コストの削減や生産性の改善を通じた収益性向上策の実現が必須となってきています。

今回、RPA テクノロジーズでは RPA のベーステクノロジーである「BizRobo!」を西濃運輸に提供し、『バックオフィス業務の効率化』を開始いたします。

西濃運輸では、2017年4月より様々な部署の若手管理職らが集まり、将来の会社のあるべき姿を考えるプロジェクトチームが発足いたしました。そのプロジェクトの中で、国内の就業人口の減少に対する策として RPA の導入による間接業務の効率化が検討されていました。8月より本社各部署の月間約 11,000 分に相当するバックオフィス業務に対して、「BizRobo!」によるロボットの作成と稼働を開始します。

事前に営業部門で行われた試験運用では、社員がこれまで 20 分かかっていた集計作業が、わずか 20 秒で完了するなど、大幅な省力化・効率化を実現しました。まずは、本社内の営業支援、経理・労務管理などの分野で使用を開始し、その後は各支店や営業所での運用を想定しています。RPA の導入によって捻出できた時間は、企画立案の仕事やお客さまと接する時間に置き換えていきたいと考えています。

また、西濃運輸ではバックオフィス業務を行う RPA にマスコットキャラクターであるカンガルーのカルちゃんをロボット化した『ロボカル』を作成し、社内で親しめる工夫も行っています。

今後も RPA テクノロジーズでは、RPA 企業の課題解決や生産性向上を支援するサービスを開発し、RPA の導入による働き方改革の推進や、人がより創造的な業務に就くための支援をしてまいります。



「ロボカル」

## 【会社概要】

### ■西濃運輸株式会社について(<http://www.seino.co.jp/seino/>)

- ・本社所在地：岐阜県大垣市田口町 1
- ・設 立：2005 年 10 月
- ・代 表 者：代表取締役社長 神谷 正博
- ・資 本 金：1 億円
- ・事 業 内 容：カンガルー特急便を中心とした商業物流サービス事業

### ■RPA テクノロジーズ株式会社について(<http://rpa-technologies.com/>)

- ・本社所在地：東京都港区赤坂 1-12-32 アーク森ビル 13F
- ・設 立：2013 年 7 月  
クライアント企業の新規事業に対する投資及びコンサルティングサービスを手掛ける  
オープンアソシエイツ株式会社より、会社分割により 100%子会社として設立
- ・代 表 者：代表取締役社長 大角 暢之
- ・資 本 金：3,000 万円
- ・事 業 内 容：コンピュータ、その周辺機器およびそのソフトウェアの開発、設計、製造、販売ならびに  
輸出入業務/情報処理サービス業および、コンサルタント業務/情報提供サービス業/  
マーケティングリサーチおよび各種情報の収集分析